



話題がいっぱい! なかゆこい



1月18日 癒しのハーモニーを奏でる

1月18日、浦添市てだこホールで「浦添市小中学生音楽祭」が開催されました。昨年12月に行われたオーディションで選出された小中学生による独奏や独唱、合奏が披露され、会場を魅了しました。また、ゲストとして第34回全国リコーダーコンテストで優勝した宮城小学校リコーダー部の皆さんが出演し、素晴らしい音色を奏でていました。



1月17日 市民の安全へ向け協定締結

1月17日、本市と米軍による「災害準備及び災害対応のための在日米軍の施設及び区域への限定された立入りについての現地実施協定」が結ばれ、災害発生時に市民がキャンプキンザー内を通過して避難することが可能になりました。また、同月那覇市と、災害発生時に要請に応じて相互支援を行う「災害時相互応援協定」を締結しました。この協定で更なる広域的な防災体制の構築を図ることができました。



1月30日 琉球漆器でおいしい給食!

毎年1月24日から30日までは全国学校給食週間です。これは学校給食の意義や役割について理解と関心を高め、学校給食の充実を図る目的で実施されています。

1月30日は、松本市長や教育関係者が市内小学校を訪問し、児童と給食を食べました。この日のメニューは郷土料理のイナムドゥチでした。松本市長と給食の時間を過ごした浦城小学校の6年4組では、いつもの食器に代えて琉球漆器が使用されました。使い慣れない琉球漆器に少し戸惑いながらもおいしく給食を食べ、ほとんどの児童が完食していました。



1月16日 琉球空手のルーツはどこに? 公開報告会

「平成25年度琉球空手のルーツを探る事業」の調査の公開報告会がハーモニーセンターで開かれ、市民など40人が参加しました。

調査検討委員会は、中国武術と琉球空手の比較調査をするため、昨年10月に中国泉州市に行き、その報告として現地での映像紹介や調査検討委員会委員5人による調査発表が行われました。参加者は、空手の歴史・技術分野などの報告に、熱心に耳を傾けていました。



1月26日 花見を楽しむ人々

1月26日、第2回茶山桜まつりが茶山第二公園で開かれました。園内には43本のカンヒザクラが植えられており、参加者は咲き誇る桜を眺めながら茶道や川柳を楽しみました。

自治会では、今後はもっと盛大な花見の宴が開けるように公園内に桜トンネルをつくったり、桜の植樹を増やす計画をしているそうです。地域の皆さんは「来年がますます楽しみだ」と期待していました。



2月15日 発掘された近世の墓を見学!

前田地域で発掘された近世(1609年~1879年)の墓の見学会が行われました。この墓の多くは砂岩を掘り込んで造られているのが特徴です。発掘する前は、このほとんどの墓が土に埋まっていた。今年度の調査でこの近辺には、約60基の墓があることがわかりました。

参加者は、発掘調査員の説明の後、墓の周りの土を触って地質を確かめたり、墓の中を覗き込んだりしながら見学会を楽しみました。



2月15日・16日 一年の学習の成果を披露

第28回中央公民館祭りが2月15日・16日の2日間にわたって開催され、約3,700人の来場がありました。中央公民館を利用する団体は来場者へ日頃の学習活動の成果を披露しました。

会場ではアレンジメントフラワーや絵、書道等が展示されたほか、48団体が2日間に分けて舞台発表をし来場者を楽しませました。また、飲食部では、沖縄そば、おでん、カレーパン、ヒラヤーチー等が販売され大好評でした。

